

令和7年度 函館市地域コーディネーター名簿

資料1

(令和7年4月1日現在)

配置校	所属・役職	氏 名
青柳中学校, 弥生小学校, 青柳小学校, あさひ小学校	地域包括支援センターあさひ センター長 (学校運営協議会委員)	四戸 悦未
港中学校, 港小学校	港小学校 元PTA会長, 民生児童委員 (学校運営協議会委員)	梅田 史恵
深堀中学校, 駒場小学校, 深堀小学校, 湯川小学校	地域包括支援センターゆのかわ 保健係長 (学校運営協議会委員)	京谷 佳子
五稜郭中学校, 万年橋小学校	北浜町会総務部長, 民生児童委員 (学校運営協議会委員)	酒井 道子
北中学校, 北日吉小学校	北中学校 元PTA会長 (学校運営協議会委員)	齊藤 文大
恵山中学校, えさん小学校	えさん小学校 PTA会長 (学校運営協議会委員)	三好 ひとみ
巴中学校	元的場中学校 PTA副会長 (学校運営協議会委員)	吉村 小織
桔梗中学校	桔梗中学校 元PTA会長 (学校運営協議会委員)	千山 毅
中部小学校	学校給食会事務局長, 民生児童委員 (学校運営協議会委員)	中村 ひでの
北星小学校	北星小学校 PTA顧問 (学校運営協議会委員)	梶原 亜里沙
千代田小学校	千代田小学校 元PTA会長 (学校運営協議会委員)	阿久津 満希
大森浜小学校	大森浜小学校 元PTA会長 (学校運営協議会委員)	建部 勝自
高丘小学校	高丘小学校 元PTA会長, 高丘町会長 (学校運営協議会委員)	郷六 信司
中の沢小学校	中の沢小学校 PTA副会長 (学校運営協議会委員)	間 有紀
昭和小学校	昭和小学校 元PTA会長, 民生児童委員 (学校運営協議会委員)	照井 千津
亀田小学校	亀田小学校 PTA役員 (学校運営協議会委員)	田中 真未
東山小学校	東山小学校 元PTA役員 (学校運営協議会委員)	松浪 あゆみ
桔梗小学校	桔梗小学校 PTA会長 (学校運営協議会委員)	高田 知昂
南本通小学校, 本通中学校	南本通小学校 元PTA会長 (学校運営協議会委員) ◎統括地域コーディネーター	神田 克実
市立函館高校	市立函館高校 元PTA会長 (学校運営協議会委員)	田中 慎一

令和7年度 計31校 20名 ※ 下線部は新規

(設置)

第1条 本市の地域学校協働活動の推進に関し必要な検討を行うため、函館市教育委員会（以下「教育委員会」という。）に、函館市地域学校協働活動連絡会議（以下「会議」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 会議は、次に掲げる事項について検討する。

- (1) 各市立学校における地域学校協働活動の取組事例と本市の地域学校協働活動の今後の方向性に関すること。
- (2) 地域学校協働活動推進員の配置および地域学校協働本部の設置に関すること。
- (3) その他地域学校協働活動に関すること。

(組織)

第3条 会議は、函館市地域学校協働活動推進事業地域コーディネーター等設置要綱に基づく地域コーディネーターおよび統括地域コーディネーターで、教育委員会が委嘱する委員をもって組織する。

- 2 会議にオブザーバーを置き、必要に応じて意見、助言等を求めることができる。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日からその日の属する年度の末日までとする。

- 2 委員の再任は、妨げないものとする。

(座長)

第5条 会議に座長を置く。

- 2 座長は、委員の互選により定める。
- 3 座長は、会務を総理し、会議を代表する。
- 4 座長に事故等があるときは、あらかじめ座長の指名する委員がその職務を代行する。

(会議)

第6条 会議は、座長が招集する。

- 2 座長は、会議の議長となる。
- 3 座長は、必要があると認めたときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴取することができる。
- 4 第1項の規定にかかわらず、教育委員会は、必要に応じ、委員を招集し会議を開くことができる。

(庶務)

第7条 会議の庶務は、教育委員会学校教育部教育政策課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、座長が会議に諮って定める。

附 則

この要綱は、令和2年7月28日から施行する。

附 則

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和7年4月1日から施行する。

函館市地域学校協働活動推進事業地域コーディネーター等設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、函館市教育委員会（以下「委員会」という。）が委嘱する地域コーディネーターおよび統括地域コーディネーター（以下「地域コーディネーター等」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要綱において「地域コーディネーター」とは、社会教育法（昭和24年法律207号）第9条の7に規定する地域学校協働活動推進員をいう。

(委嘱)

第3条 地域コーディネーターは、函館市立の幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校および高等学校（以下「学校」という。）や地域の現状を理解し、学校の教育活動向上に意欲がある者のうちから、委員会が委嘱する。

2 前項の者のうち、統括的な役割を担う者を統括地域コーディネーターとして、委員会が委嘱する。

(活動内容)

第4条 地域コーディネーターの活動内容は、次のとおりとする。

- (1) 学校の関係者、地域ボランティアとの連絡および調整に関すること。
- (2) 地域ボランティアに係る情報収集、育成等に関すること。
- (3) 学校への地域ボランティアに係る情報の提供に関すること。
- (4) 活動内容の発信および周知に関すること。
- (5) 前各号に掲げる活動内容のほか、委員会が必要と認めること。

2 統括地域コーディネーターの活動内容は、次のとおりとする。

- (1) 地域コーディネーターとの連絡および調整に関すること。
- (2) 地域コーディネーターの育成等に関すること。
- (3) 地域学校協働活動の発信および周知に関すること。
- (4) 地域学校協働活動本部の体制整備に関すること。
- (5) 前各号に掲げる活動内容のほか、委員会が必要と認めること。

(承認)

第5条 地域コーディネーターは、第3条第1項の規定により委嘱される場合、承諾書（別記第1号様式）を委員会に提出しなければならない。

2 統括地域コーディネーターは、第3条第2項の規定により委嘱される場合、承諾書（別記第2号様式）を委員会に提出しなければならない。

(活動状況の管理および活動記録の作成)

第6条 地域コーディネーターは、活動状況を報告するため、地域コーディネーター実績報告書(別記第3号様式)を当該月の翌月の15日までに委員会に提出しなければならない。

2 統括地域コーディネーターは、活動状況を報告するため、統括地域コーディネーター実績報告書(別記第4号様式)を当該月の翌月の10日までに委員会に提出しなければならない。

(身分証)

第7条 委員会は、第3条第1項の規定により委嘱した地域コーディネーターに対し、身分証(別記第5号様式)を交付する。

2 委員会は、第3条第2項の規定により委嘱した統括地域コーディネーターに対し、身分証(別記第6号様式)を交付する。

3 地域コーディネーター等は、活動に従事するときは、常に身分証を所持しなければならない。

(報酬および支払い)

第8条 地域コーディネーターの活動は、無報酬とする。

2 統括地域コーディネーターの報酬は、別表のとおりとし、委員会は、第6条第2項の報告書の提出を受けたときは、別表により支払うものとする。

(任期)

第9条 地域コーディネーター等の任期は、委嘱の日からその日の属する年度の末日までとする。ただし、再任を妨げない。

(委嘱の辞退)

第10条 地域コーディネーター等は、前条の任期の満了前に委嘱を辞退しようとするときは、14日前までに委員会に申し出なければならない。

(委嘱の解除)

第11条 委員会は、地域コーディネーター等が次の各号のいずれかに該当する場合は、任期の満了前であっても委嘱を解くことができる。

(1) 地域コーディネーター等の活動を怠った場合

(2) 心身の故障のため、活動の継続に支障があり、またはこれに堪えられない場合

(3) 地域コーディネーター等活動の実績が良くない場合

(4) 地域コーディネーター等としてふさわしくない行為があった場合

(守秘義務)

第12条 地域コーディネーター等は委員会または学校の許可があった場合を除き、その活

動上知り得た秘密を漏らしてはならない。また、地域コーディネーター等の委嘱期間終了後も同様とする。

(委任)

第 13 条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行について必要な事項は、函館市教育委員会学校教育部教育政策課長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和 2 年 7 月 7 日から施行する。

附 則

この要綱は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。

別表（第8条第2項関係）

区 分	時間単価	備 考
統括地域コーディネーター	1, 6 5 6 円	時間単価に月の合計時間に乗じる。

- （1）月の合計時間が、1時間未満の場合はその活動時間を1時間とし、1時間を超える場合であって当該活動時間に1時間未満の端数があるときは、その端数を1時間（30分以下の端数の場合は、30分）として算定するものとする。
- （2）時間単価に月の合計時間に乗じて得た額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てるものとする。

函館市地域学校協働活動推進事業
地域コーディネーター承諾書

私は、下記事項を了承し、函館市地域学校協働活動推進事業地域コーディネーターとなることを承諾します。

記

1 期 間 年 月 日～ 年 月 日

2 配 置 校 函館市立 学校（園）

3 報 酬 無報酬とする。

年 月 日

函館市教育委員会 様

住 所

氏 名

函館市地域学校協働活動推進事業
統括地域コーディネーター承諾書

私は、下記事項を了承し、函館市地域学校協働活動推進事業統括地域コーディネーターとなることを承諾します。

記

1 期 間 年 月 日～ 年 月 日

2 報 酬 月の合計時間に 円を乗じた金額とする。

年 月 日

函館市教育委員会 様

住 所

氏 名

別記第3号様式（第6条第1項関係）

年度 函館市地域学校協働活動推進事業
地域コーディネーター実績報告書（ 月分）

学校名		地域コーディネーター 氏名			
-----	--	------------------	--	--	--

活動日	曜日	活 動 内 容	活動時間 (24 時間表記)		校長印またはサイン
			～		
			時間数	時間	
			～		
			時間数	時間	
			～		
			時間数	時間	
			～		
			時間数	時間	
			～		
			時間数	時間	
			～		
			時間数	時間	
			～		
			時間数	時間	
			～		
			時間数	時間	
活動時間（合計）			時間		

※ 翌月15日までに、函館市教育委員会へ提出するものとする。

年度 函館市地域学校協働活動推進事業
統括地域コーディネーター実績報告書（ 月分）

統括地域コーディネーター 氏名	
--------------------	--

活動日	曜日	活　動　内　容	活動時間 (24 時間表記)		確認
			～		
			時間数	時間	
			～		
			時間数	時間	
			～		
			時間数	時間	
			～		
			時間数	時間	
			～		
			時間数	時間	
			～		
			時間数	時間	
			～		
			時間数	時間	
			～		
			時間数	時間	
			～		
			時間数	時間	
活動時間（合計）			時間		

※ 翌月10日までに、函館市教育委員会へ提出するものとする。

第 号

身分証明書

所属学校名：

氏 名：

生 年 月 日：

上記の者は、本市の地域学校協働活動推進事業地域コーディネーターであることを証明する。

任期 年 月 日
年 月 日

年 月 日

函館市教育委員会 印

第 号

身分証明書

氏 名：

生 年 月 日：

上記の者は、本市の地域学校協働活動推進事業統括地域コーディネーターであることを証明する。

任期 年 月 日
年 月 日

年 月 日

函館市教育委員会 印

令和 年 月 日

令和 5 年度 函館市地域学校協働活動推進事業 **実施計画書**・実績報告書

活動名	包括支援センターあさひ祭り
企画・立案者	地域コーディネーター ○○ ○○○
実施校	青柳中学校・弥生小学校・青柳小学校・あさひ小学校
活動の目的・内容	（概要）※60～80字程度 中学校区内にある包括支援センターでの祭りのポスターをあさひ小校区放課後児童クラブと青柳中美術部が作成し、当日の運営を青柳中の生徒がボランティアとして手伝った。 （目的）※60～80字程度 青柳中の生徒たちが自分たちの住む地域に目を向け、持てる力を発揮し地域のために役立とうとする「豊かな心」の育成を目的としている。 （期待される効果）※60～80字程度 ボランティアとして奉仕活動に積極的に取り組み、自身の活動を褒められたり、感謝されることで児童・生徒の自己有用感を高める。
主催・共催	主催：青柳ネット（青柳中・弥生小・青柳小・あさひ小合同 CS） 共催：包括支援センターあさひ
実施予定日時	令和5年9月16日（土）
実施予定場所	包括支援センターあさひ
従事者の予定人数	約10名
本事業に必要な経費（内訳）	（項目） ・ ちらし用紙 PPC 用紙 A4 ※年契品 2箱（500枚×5冊） @2,150×2×1.1=4,730 ・ キヤノンインクカートリッジ BCI-381 6色マルチパック 1箱 https://store.canon.jp/online/g/g2344C002/ @6,763×1×1.1=7,440 （概算額）12,170円
以下、活動終了後に必要事項を記入の上、写真とともに提出ください。	
活動の成果	（活動の成果）※60～80字程度
活動に参加した子ども	・ ○○学校 ○年生 ○名 ・ ○○幼稚園 ○名
活動に参加した地域住民等	・ ○○センター職員 ○名 ・ ○○町会 ○名
町会との連携	有 ・
写真のクレジット	

購入希望の物品がある場合はご記入願います。

※購入希望品の URL や型番を記載
※年契品は学校がよく使う事務用品等リストに掲載の物品です。

（型番不要、早めに届きます。）

令和 5 年度 函館市地域学校協働活動推進事業 実施計画書・実績報告書

活動名	包括支援センターあさひ祭り
企画・立案者	地域コーディネーター ○○ ○○○
実施校	青柳中学校・弥生小学校・青柳小学校
活動の目的・内容	(概要) ※60～80字程度 中学校区内にある包括支援センターでの祭りのポスターをあさひ小校区放課後児童クラブと青柳中美術部が作成し、当日の運営を青柳中の生徒がボランティアとして手伝った。 (目的) ※60～80字程度 青柳中の生徒たちが自分たちの住む地域に目を向け、持てる力を発揮し地域のために役立とうとする「豊かな心」の育成を目的としている。 (期待される効果) ※60～80字程度 ボランティアとして奉仕活動に積極的に取り組み、自身の活動を褒められたり、感謝されることで児童・生徒の自己有用感を高める。
主催・共催	主催：青柳ネット（青柳中・弥生小・青柳小・あさひ小合同CS） 共催：包括支援センターあさひ
実施予定日時	令和5年9月16日（土）
実施予定場所	包括支援センターあさひ
従事者の予定人数	約10名
本事業に必要な経費（内訳）	（項目） ・ ちらし用紙 PPC用紙 A4 ※年契品 2箱（500枚×5冊） @2,150×2×1.1=4,730 ・ キヤノンインクカートリッジ BCI-381 6色マルチパック 1箱 https://store.canon.jp/online/g/g2344C002/ @6,763×1×1.1=7,440（概算額）12,170円
以下、活動終了後に必要事項を記入の上、写真とともにご提出ください。	
活動の成果	（活動の成果）※60～80字程度 ボランティアとして奉仕活動に積極的に取り組み、自身の活動を褒められたり、感謝されることで児童・生徒の自己有用感が高まった。
活動に参加した子ども	・ 青柳中生徒8名（運営ボランティア）、ポスター作製（美術部）○名 ・ あさひ小校区内放課後児童クラブ○名
活動に参加した地域住民等	・ 地域包括支援センター職員 約10名
町会との連携	有 ・ 無
写真のクレジット	包括支援センターあさひ祭りの様子

実施計画書をそのまま活用し、
実績報告書に○をしてください

色付きの部分だけ
追記

実施計画書（期待される効果）を参考に記載

函館市の地域学校協働活動について

令和7年5月1日(木)

函館市教育委員会学校教育政策課

目次

- 1 令和7年度学校運営協議会・地域コーディネーターの配置状況について
- 2 函館市地域学校協働活動推進事業地域コーディネーター等設置要綱の改正について
- 3 地域コーディネーターの役割について
- 4 市内市立学校での課題について
- 5 地域学校協働活動の効果について
- 6 令和7年度の新たな取組について

1 令和7年度 学校運営協議会・ 地域コーディネーター等の配置状況について

- 学校運営協議会の設置 38協議会
〔 小学校38校・中学校18校・義務教育学校1校・
高等学校1校・幼稚園1園 〕
- 地域コーディネーターの配置(31校 計20名)
- 統括地域コーディネーター1名を新規配置

(主な改正点)

- ・統括地域コーディネーターの新設
- ・別記第1号様式「地域コーディネーター承諾書」 および
別記第3号様式「地域コーディネーター実績報告書」の押印廃止

別記第3号様式（第6条第1項関係）

年度 函館市地域学校協働活動推進事業

地域コーディネーター実績報告書（ 月分）

学校名		地域コーディネーター 氏名	
-----	--	------------------	--

活動日	曜日	活 動 内 容	活動時間 (24 時間表記)	校長印またはサイン
			～	
			時間数 時間	
			～	
			時間数 時間	
			～	
			時間数 時間	
			～	
			時間数 時間	
			～	
			時間数 時間	
			～	
			時間数 時間	
			～	
			時間数 時間	
			～	
			時間数 時間	
			～	
			時間数 時間	
			～	
			時間数 時間	
活動時間（合計）			時間	

※ 翌月15日までに、函館市教育委員会へ提出するものとする。

3 地域コーディネーターの役割について

地域コーディネーター

＝学校と地域をつなぐパイプ役

○ 地域学校協働活動

学校と地域とが、共有する目標に向かって、連携・分担しながら地域全体で多様な教育機会を実施する活動

活動は多種多様
でも、志はひとつ

4 市内市立学校での課題について

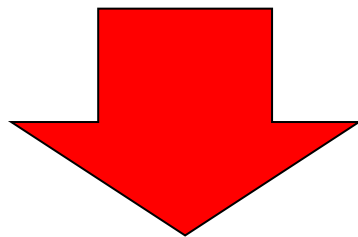
- 令和6年度学校運営協議会開催状況調査結果

(学校運営協議会の運営に関して課題と感じていること)

- 1 支援してくれる人材の発掘が困難なこと
- 2 企画した内容に対する人的・物的支援が不足している
- 3 熟議が活動に至らない

5 地域学校協働活動の効果について

「社会に開かれた教育課程」の実現



学校外の活動が「生きる力」を
身に付ける原動力に

6 令和7年度の新たな取組について

- 地域コーディネーター間の情報共有の強化
- 地域学校協働活動の広報の強化
- 地域コーディネーターの共通認識の強化

今年度は地域学校協働活動強化年間





① 地域コーディネーター間の情報共有の強化

- コミュニケーションツールを使用した情報共有

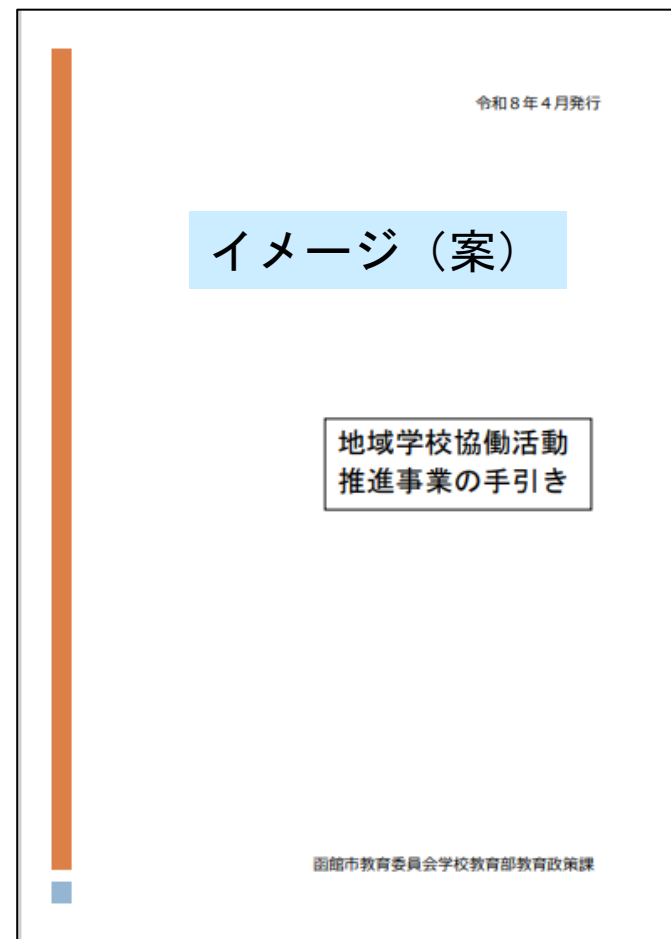
② 地域学校協働活動の広報の強化

- 地域学校協働活動広報誌を定期発行します



③ 地域コーディネーターの共通認識の強化

- 統括地域コーディネーターとともに地域コーディネーターの手引きを今年度中に作成し、来年度から共有していく予定です。





令和6年度（2024年度）
函館市の
コミュニティ・スクールの取組
～地域学校協働活動実践事例集～

函館市教育委員会学校教育部教育政策課

令和7年（2025年）4月

実践事例集について

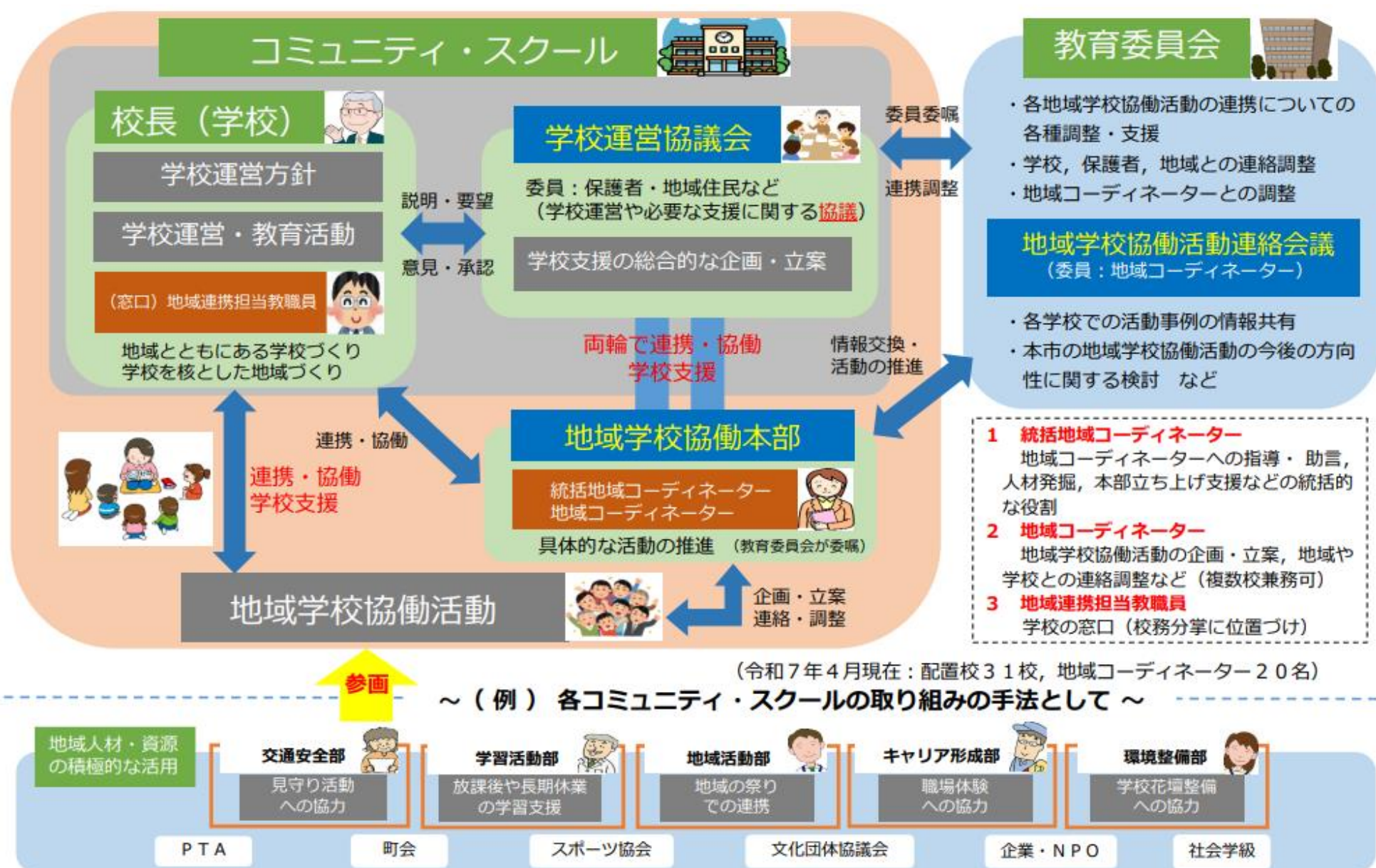


本市では、各地域において、保護者や地域の皆様とともに、学校運営協議会で協議した内容等をもとに、様々な地域学校協働活動が展開されています。

また、令和2年度（2020年度）から、地域と学校をつなぐパイプ役として地域コーディネーターを配置しており、当初は市立学校14校に計8名からはじまり、令和6年度（2024年度）は30校・1園に計21名まで拡充し、さらなる地域学校協働活動の充実を図っています。

本事例集では、主に地域コーディネーターが関わった市立学校での活動を紹介しています。保護者や地域、学校関係者の皆様におかれましては、今後の活動にあたって、参考にいただければ幸いです。

函館市のコミュニティ・スクールのイメージ図



※ 上記はイメージ図であり、全学校の現状を表すものではありません。

① 弥生小学校

学校支援活動（キャリア教育）

【活動】

「路線バスについて学ぼう～乗り方教室・運転手の仕事紹介～」

活動概要	▼1・2年生を対象に、函館バス職員による、路線バスへの乗降の仕方や乗車時のマナー、運転手の仕事内容についての講話を行ったほか、講話を踏まえて実際に乗車体験を行った。
活動のねらい	▼児童が実際に乗車体験することにより、路線バスへの乗降の仕方などについて、理解を深めるとともに、運転手の仕事に興味を持ち、将来の進路決定の一助となることを目的とする。
活動の成果など	▼実際に乗車体験をすることにより、バスの乗降の仕方やマナーを体験的に理解することができたほか、運転手の仕事を具体的にイメージすることができる良い機会となった。



乗車体験の様子

主催：函館市地域公共交通協議会
協力：函館バス株式会社

1

活動日・場所

令和6年11月21日（木）
弥生小体育館・駐車場

2

活動した子ども

弥生小児童 35名
（1・2年生）

3

地域住民等

函館市地域公共交通協議会
函館バス株式会社

② 深堀小学校・駒場小学校

町会との連携
による活動

学校支援活動（樹木観察授業）

【活動】

3年生総合的な学習「樹木観察授業」

活動概要	▼3年生の授業で、樹木に詳しい地域住民を講師として招き、各学校の校庭内にある樹木について学んだ。
活動のねらい	▼児童の学びを深めるとともに、地域住民が講師のほか補助の役割を担うことにより、地域住民の存在を身近に感じるきっかけを創出することを目的とする。
活動の成果など	▼児童の樹木への関心が高まり、学びが深まったほか、児童が地域住民との交流を深め、身近に感じることで、今後の繋がりができた。



樹木の説明を聞いている様子

主催：深堀小・駒場小

1

活動日・場所

令和6年6月19日（水）駒場小校庭
令和6年6月27日（木）深堀小校庭

2

活動した子ども

駒場小児童 29名
深堀小児童 42名

3

地域住民等

深堀町会、深駒町会 計6名

③ 五稜郭中学校

学校支援活動（人権スポーツ教室）

【活動】

人権スポーツ教室「車いすバスケットボール」

活動概要	▼ハダース函館元町ライオンズ車いすバスケットボールクラブと協力し、車いすバスケットボールの体験と障がい者への理解を深める活動として開催した。
活動のねらい	▼車いすバスケットボールの体験を通して、人権意識の向上を図ることを目的とする。
活動の成果など	▼生徒たちはパラスポーツの迫力と楽しさを体験するとともに、障がいへの理解、自他者の人権尊重の大切さ、共に力を合わせることの大切さを学んだ。



人権スポーツ教室の様子

主催：五稜郭中 CS・函館地方事務局・
函館人権擁護委員連合会

1

活動日・場所

令和6年9月21日（土）
五稜郭中体育館

2

活動した子ども

五稜郭中生徒 25名
（バスケット部1・2年生）

3

地域住民等

ハダース函館元町ライオンズ車いすバスケットボール
ボランティア、人権擁護委員協議会 計14名

④ 万年橋小学校

町会との連携
による活動

地域課題解決学習（地域交流）

【活動】

地域介護施設夏祭り

活動概要	▼介護施設に入居し、家族や地域と交流ができない高齢者のため、夏休み中の児童が施設を訪問し、高齢者や地域住民と交流した。
活動のねらい	▼高齢者と触れ合うことで、児童が高齢者の問題等を知り、自分たちでできるボランティアの大切さを知ることとする。
活動の成果など	▼児童たちにとって、あまりなじみのない介護施設の中で暮らしている高齢者と交流することで、その様子を理解するとともに、訪問先の高齢者に喜んでもらったことにより自己有用感が生まれた。



夏祭りの様子

主催：万年橋小CS

1

活動日・場所

令和6年8月17日（土）
函館はくあい園

2

活動した子ども

万年橋小児童 7名

3

地域住民等

北浜町会、
万年橋小CSボランティア 計5名

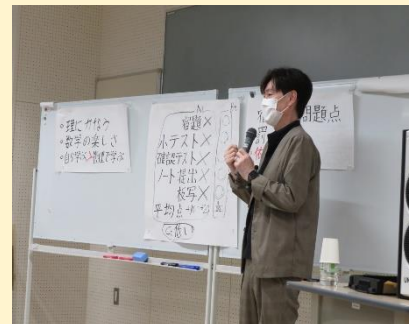
⑤ 巴中学校

学校支援活動（学習講演会）

【活動】

「巴中 CS 知ってよかった講座（池上学志先生の「神授業と言われる訳）」

活動概要	▼中学生の保護者や教職員に有益な情報を持った講師を招き、「これを知ってよかった」と思える講演を開催した。
活動のねらい	▼講師が長い教員生活の中で、継続して生徒の学業成績を著しく上げている成果の背景にある考え方・手法を聞き、保護者や教職員が今後の生徒への接し方について考えるきっかけをつくることを目的とする。
活動の成果など	▼講師の経験に基づいた理にかなった考え方に触れることで、参加した教職員や大学生たちの勉強や宿題に対する考え方や教育に携わる意欲に影響を与えることができた。



知ってよかった講座の様子

主催：巴中 CS

1 活動日・場所 令和6年10月18日（金） 巴中 多目的室	2 活動した子ども 巴中生徒 3名	3 地域住民等 巴中保護者、教職員、生徒、 地域住民、PTA 三役 計69名
--------------------------------------	----------------------	--

⑥ 大森浜小学校

学校支援活動（学校行事）

【活動】

「大森浜教育の日」（地域ふれあい授業）

活動概要	▼家庭・学校・地域が一体となって教育への理解や関心を高めるための取り組みとして、地域住民や保護者が講師となり、学年別に、本の読み聞かせ、日本舞踊などを行った。
活動のねらい	▼地域住民との交流や外部人材の活用を通じ、地域に根ざした学習活動を充実させ、児童が日本の文化・芸術を知るとともに、地域への愛着やほこりを育むことを目的とする。
活動の成果など	▼児童と地域住民のコミュニケーションの場となったほか、地域全体で子どもたちの教育について考え、行動しようとする意識が高まった。



保護者による読み聞かせの様子

主催：大森浜小 CS

1 活動日・場所 令和6年11月16日（土） 大森浜小 各教室・体育館	2 活動した子ども 大森浜小児童 400名	3 地域住民等 大森浜小 CS、地域ボランティア、 保護者 計20名
---	--------------------------	--

⑦ 南本通小学校

町会との連携
による活動

学校支援活動（防災教育）

【活動】

DIG 災害図上訓練

活動概要	▼いつ起こるか分からない災害について、地域住民と一緒に、危険箇所や避難場所を地図上で確認したうえで、実際に完成した地図を見ながら現地確認を行った。
活動のねらい	▼自分の住んでいる地域の危険箇所や避難場所を確認することにより、さまざまな状況下においても迅速に避難行動ができることを目的とする。
活動の成果など	▼地域住民と一緒に確認することによる児童の気づきがあったほか、実際に現地を確認することにより、立体的に危険箇所を体感し、新たな発見やさらなる防災意識を持つことができた。



災害図上訓練の様子

主催：南本通小 CS 協働活動推進委員会

1

活動日・場所

令和6年9月25日（水）南本通小 体育館
令和6年10月2日（水）南本通小学校区

2

活動した子ども

南本通小児童 31名

3

地域住民等

南小 CS、函館中央警察署、南本通町会、本通中央町会、鍛冶町会、花園町会 計17名

⑧ 本通中学校

町会との連携
による活動

地域課題解決学習（SDGs）

【活動】

「古着 de ワクチンプロジェクト」

活動概要	▼SDGs に取組んでいる企業や事業所のブースを設け、ワークショップなどを実施したほか、不用品の交換会を実施し、余った不用品を関係団体に寄付するための梱包作業を参加者全員で行った。
活動のねらい	▼古着などのリユース活動を通して、参加者が一体となって持続可能な世界の実現に向けての取組みを推進するとともに、学校と地域のつながりを強めることを目的とする。
活動の成果など	▼地域住民と生徒が交流を持つことにより、生徒の地域への理解が深まったほか、参加者全員の SDGs への関心が高まり、一体となって持続可能な取組を推進しようとする意欲の高まりにつながった。



「古着 de ワクチンプロジェクト」の様子

主催：古着 de ワクチン実行委員会

1

活動日・場所

令和6年10月27日（日）
本通中 体育館・駐車場

2

活動した子ども

南本通小児童、
本通中学生 計40名

3

地域住民等

本通中 CS、本通町会、本通中央町会、鍛冶町会、
南本通小学校協働活動推進委員会 計30名

⑨ 昭和小学校

町会との連携
による活動

学校支援活動（見守り活動）

【活動】

学校と町会が協力した防犯パトロール「通学路 99 作戦への町会の協力」

きゅうきゅう

活動概要	▼PTA の取組である通学路の安全確認とごみ拾いに、近隣町会から協力の申し出があり、児童とともに参加、見守りをを行った。
活動のねらい	▼PTA の取組である通学路の安全確認とごみ拾いに町会が加わることで、地域全体が小学校の活動に関心を持つことを目的としている。
活動の成果など	▼町会からの協力の申し出に応じ、地域住民の声を形にすることができた。また、町会にとっても小学校との接点ができ、今まで以上に学校や PTA 活動に関心をもってもらうことができた。



99 作戦の様子

主催：昭和小 CS

1

活動日・場所

令和 6 年 7 月 6 日（土）
昭和小学校区

2

活動した子ども

昭和小児童 60 名

3

地域住民等

町会 8 名

⑩ 深堀中学校

町会との連携
による活動

地域課題解決学習（地域交流）

【活動】

「走らないミニ運動会」運営ボランティア

活動概要	▼高齢者の運動量を増やす目的で町会が主催した運動会の参加者に、より安心して参加してもらえるよう、生徒が運営や競技の補助などのボランティアを行った。
活動のねらい	▼生徒が町会行事の手伝いを通し、高齢者との交流経験を得ることや、地域の担い手としての意識の向上を図ることを目的とする。
活動の成果など	▼地域住民と生徒の交流が図られたほか、生徒にとって、ボランティア活動への参加意欲の高まりにつながった。



玉入れ競技の様子

主催：東深堀町会

1

活動日・場所

令和 6 年 7 月 20 日（土）
函館アリーナ武道館

2

活動した子ども

深堀中生徒 7 名

3

地域住民等

東深堀町会 30 名

⑪

千代田小学校

地域課題解決学習（地域交流）

【活動】

「モルックくらぶ」

活動概要	▼月1回、五稜児童館にて、児童と近隣幼稚園の園児を対象に、モルックを行う「モルックくらぶ」を開催した。
活動のねらい	▼モルックを通して、地域の幼児から大人までの多世代間での交流をすることにより、豊かな心を育むことを目的とする。
活動の成果など	▼年齢を問わず楽しめるモルックを通じて、多世代間の交流が生まれ、定期的に顔を合わせることで互いをより深く知る機会となった。



「モルックくらぶ」の様子

主催：千代田小 CS 応援隊

1

活動日・場所

毎月最終土曜日
五稜児童館

2

活動した子ども

千代田小児童、近隣の幼稚園児
5名程度

3

地域住民等

千代田小 CS 応援隊 3名

⑫

港中学校・港小学校

地域課題解決学習（避難訓練）

【活動】

「地域合同避難訓練 PART2」

活動概要	▼港アカデミック・パッケージ・システムズ（MAPS）に基づき、港地区内の学校と地域教育に携わる幼稚園や大学等の教育施設などの構成員とともに、避難経路の確認を行った。
活動のねらい	▼児童生徒の防災意識の向上を図るとともに、児童生徒の安全安心をサポートしてくれる地域住民「見守り隊」の存在を理解することを目的とする。
活動の成果など	▼地域全体で避難訓練を行うことで、良い緊張感をもって取り組むことができた。また、子どもたちが地域の協力体制を直接感じる良い機会となった。



地域合同避難訓練の様子

主催：港小、港中・港小 CS

1

活動日・場所

令和6年9月2日（月）
港小体育館など

2

活動した子ども

港小児童 425名

3

地域住民等

MAPS メンバー 16名

⑬ 桔梗中学校

町会との連携
による活動

地域課題解決学習（地域交流）

【活動】

「桔梗地区つながるマルシェ」

活動概要	▼桔梗町会，包括支援センター，桔梗中校区コミュニティ・スクールが合同でマルシェを開催し，地域の活性化を図った。
活動のねらい	▼地域が一体となって，町会や福祉，青少年育成について，実践を通して理解し合うことにより，町全体を知り，地域を愛する心を育てることを目的としている。
活動の成果など	▼来場者への対応や運営の手伝い，イベントへの参加などを通し，地域の幅広い年代の人々と交流ができたことにより，地域の活性化の一助となった。



桔梗地区つながるマルシェの様子

主催：桔梗町会，包括支援センターよろこび，桔梗中CS合同実行委員会

1

活動日・場所

令和6年7月21日（日）
交流スペースよろこび

2

活動した子ども

桔梗中学生 25名

3

地域住民等

桔梗町会，
包括支援センターよろこび 他

⑭ 中の沢小学校

地域課題解決学習（PTA 交流会）

【活動】

中の沢小・桔梗小 PTA 交流会

活動概要	▼同一中学校区にある2つの小学校の保護者が，スクールカウンセラーによる研修を通して，子どもたちの登校しぶりや不登校，子育てに関する悩みなどの情報を共有した。
活動のねらい	▼保護者たちの子育てへの不安を解消するほか，保護者間の交流を深めることにより，同一中学校区に入学予定の児童たちが，入学前から交流できるような事業につなげ，中1ギャップの解消を図ることを目的とする。
活動の成果など	▼将来中学校で一緒になる保護者間での情報を共有することで交流が深まり，将来的に中学校入学前に異なる小学校間で交流するための足掛かりができた。



PTA 交流会会場の様子

主催：中の沢小 PTA

1

活動日・場所

令和6年12月12日（木）
中の沢小 外国語ルーム

2

地域住民等

中の沢小・桔梗小保護者 13名
スクールカウンセラー 1名

⑮

戸井学園

町会との連携
による活動

地域課題解決学習（地域交流会）

【活動】

「戸井学園第2回モルック多世代交流大会」

活動概要	▼冬休みの学習会を利用した福祉学習の一環として、高齢者世代と児童の多世代が協力しながら、モルック大会を行った。
活動のねらい	▼モルックなどを通じて、児童と高齢者が交流する機会を設け、お互いに協力することにより、交流を深めることを目的とする。
活動の成果など	▼チーム構成を児童と高齢者の混合チームにしたことにより、自然と声を掛け合う機会が増え、交流を深める良い機会となった。



モルックの様子

主催：地域包括センター社協、
函館市戸井教育事務所

1

活動日・場所

令和7年1月10日（金）
戸井学園 体育館

2

活動した子ども

戸井学園児童 8名
（5・6年生）

3

地域住民等

汐首町会、瀬田来町老人クラブ、
浜町運動教室、若々体操の会 計35名

⑯

市立函館高校

地域課題解消学習（キャリア教育）

【活動】

社会人講話（1年生 総合的な探究の時間）

活動概要	▼1年生を対象に、地域で活躍する様々な職種の社会人を講師として招き、働くことの意義や社会貢献について講話を行った。
活動のねらい	▼高校入学間もない生徒が、地元で活躍する社会人から、職業観だけでなく、生き方や考え方について直接講話を聴くことにより、自身の将来のキャリアについて考えるきっかけを与えることを目的とする。
活動の成果など	▼生徒は、講話を通し、失敗を恐れず、安心して自分のやりたいことにチャレンジする精神を学び、校訓「何を求める」の意味を具体的にイメージすることができた。



講話を聴く生徒たちの様子

主催：市立函館高校 探究部

1

活動日・場所

令和6年4月26日（金）
市立函館高校

2

活動した子ども

市立函館高校生徒 200名
（1年生）

3

地域住民等

地域企業 5名

17

恵山中学校

学校支援活動（防災教育）

【活動】

恵山学「ESC 恵山登山」

活動概要	▼専門のガイドから恵山の歴史を学ぶほか、地元恵山へ地域住民と一緒に登山することにより、交流を深める体験学習を行った。
活動のねらい	▼地域住民とともに自然災害への防災意識を高めるほか、地元の観光資源を理解し、地域一体となった環境づくりを図ることを目的とする。
活動の成果など	▼専門のガイドから学ぶことにより、生徒にとって、地元の観光資源を深く理解することができたほか、地域一体で防災意識を高めることができた。



恵山登山の様子

主催：恵山中 CS

1

活動日・場所

令和6年10月3日（木）
恵山

2

活動した子ども

恵山中生徒 25名

3

地域住民等

函館山花しるべな会、社協恵山支所、ボランティア連絡協議会えさん 計10名

18

えさん小学校

学校支援活動（ふるさと教育）

【活動】

「えさん小CS磯遊び」

活動概要	▼学校近くの磯辺の清掃や、海岸に住む生き物に触れるなどの体験を通し、地元の自然の豊かさや魅力を体感した。
活動のねらい	▼身近な自然環境に触れる体験活動を通して、地域により関心を持ち、ふるさとへの思いや探求心、地域が抱える課題などに興味・関心を持つきっかけを創出することを目的とする。
活動の成果など	▼児童は積極的に清掃活動を行い、地元の海の魅力を再発見し、地域への理解を深めることができた。また、学校、保護者、地域が協働したことにより、「地域とともにあるえさん小学校づくり」を進めることができた。



磯遊びの様子

主催：えさん小 CS

1

活動日・場所

令和6年8月19日（月）
大潤漁港横海岸

2

活動した子ども

えさん小児童 32名

3

地域住民等

えさん小 CS、えさん小 PTA、
児童の兄弟 計35名

19 北星小学校

町会との連携
による活動

地域課題解決学習（地域交流会）

【活動】

地域交流「心をつなぐあったか〜いイベント in 北星小学校」

活動概要	▼冬休みの学習会に合わせ、児童が包括支援センターによる認知症をテーマとした講座を受講し、地域住民とともにカーリンコンを通して交流した。
活動のねらい	▼認知症という身近なテーマについて、共に学び、支え合いの気持ちを育むとともに、スポーツを通して、異学年や大人と関わり、地域社会との繋がりを深めることを目的とする。
活動の成果など	▼児童が講座受講により、認知症への理解を深めたほか、カーリンコンを通して、児童と地域の交流が深まるとともに、地域全体で子ども達を育て、見守るという意識が高まった。



カーリンコンの様子

主催：北星小 CS

1

活動日・場所

令和6年12月26日（木）
北星小 教室・体育館

2

活動した子ども

北星小児童 30名程度

3

地域住民等

北星小 PTA,
函館カーリンコン協会 他
計24名

20 北中学校

学校支援活動（防災教育）

【活動】

防災学習「防災について考える時間」

活動概要	▼3年生に行われる東北への修学旅行に向け、2年生を対象に、地震や土砂災害を題材とした防災教育を実施した。
活動のねらい	▼東北への修学旅行に先駆け、東日本大震災への知識をより深めるほか、防災に係る基礎知識を深めるとともに、防災意識を高めることを目的とする。
活動の成果など	▼自然災害が発生しやすい日本の地勢への理解を深めることにより、防災意識を高めるとともに、修学旅行への目的意識を明確にすることができた。



講義の様子

主催：北中

1

活動日・場所

令和7年3月6日（木）
北中 体育館

2

活動した子ども

北中学生 59名
（2年生）

3

地域住民等

ボランティア 1名

②1 高丘小学校

町会との連携
による活動

学習支援活動（クリーン作戦）

【活動】

地域クリーン作戦

活動概要	▼児童が地域住民とともに通学路の清掃を通して、ごみの存在に気づき、その分別について学ぶことにより、海洋生物に与える影響等を含む環境問題について考えた。
活動のねらい	▼児童が日常生活する地域の環境や、通学路や公園などに散乱するごみに関心を持ち、地域環境をクリーンに保つために、どうすることが大切かを学ぶほか、「気づき考え行動する子」を育成することを目的とする。
活動の成果など	▼児童が通学路や公園に落ちているごみに自ら気づき、それらを拾い集める実践を通して、地域住民が快適に生活できる環境の重要性やプラスチックごみが及ぼす環境への影響、雨水による流出経路について、気づき考えることができ、ごみ問題の解決に向けて行動することができる子どもたちの育成につながった。



クリーン作戦の様子

主催：高丘小 CS

1

活動日・場所

令和6年9月26日（木）
高丘小学校区

2

活動した子ども

高丘小児童 106名
（4～6年）

3

地域住民等

高丘町会、上野町会、
戸倉ヶ丘町会 約20名

②2 亀田小学校

学習支援活動（清掃活動）

【活動】

校内清掃活動

活動概要	▼卒業生を気持ちよく送り出せるように、卒業式前にCS・PTAを中心に校内の清掃や環境整備を行った。
活動のねらい	▼卒業式前の校内の清掃や環境整備を通して、保護者間の交流を深めるとともに、学校への関心を高めることにより、保護者の教育活動への参画を促進させることを目的とする。
活動の成果など	▼校内の清掃活動により校舎がきれいになり、卒業生を気持ちよく送り出すことができたほか、保護者間の交流を深めるとともに、学校への興味・関心を高めることができた。



校内清掃活動の様子

主催：亀田小 CS

1

活動日・場所

令和7年3月12日（水）
亀田小校内

2

地域住民等

亀田小 CS・PTA 17名

②③ 東山小学校

学校支援活動（職業体験）

【活動】

職業体験

活動概要	▼ 6年生の職業体験として、学校の近隣の美容室や飲食店等の企業の協力を得て、見るだけでなく、実際手を動かして様々な職業を体験した。
活動のねらい	▼ 実際に働いている現場を訪問することで、その仕事の内容や働いている人の職業観などを直接感じ取り、将来の仕事について考える機会を創出することを目的とする。
活動の成果など	▼ 体験先で仕事を教えてもらう中で、大人と交流しながら、その仕事の内容や職業の雰囲気というものを直接見聞きし、将来の仕事について考える良い機会となった。



美容室での職業体験の様子

主催：東山小 CS

1

活動日・場所

令和6年11月8日（金）、15日（金）、
18日（月）、19日（火）
東山小学校近隣企業等

2

活動した子ども

東山小児童 64名
（6年生）

3

地域住民等

地域協力企業 計9社
（銀行、生花店、幼稚園、スーパー、
小売店、飲食店、フィットネス）

②④ 中部小学校

地域課題解決学習（地域交流）

【活動】

「みんなのふれあい広場～みんなで遊防祭～」

活動概要	▼ PTA や町会等で組織する中部カフェ企画委員会が中心となり、子どもたちを含む中部小学校区の地域住民全体で、楽しみながら防災について学ぶ機会を創出した。
活動のねらい	▼ 子どもたちが、地域住民と触れ合いながら、炊き出しの試食、防災グッズ作り等を体験することで、地域住民との交流を深めるとともに防災意識を高めることを目的とする。
活動の成果など	▼ 子どもたちは、各ブースでの防災体験を楽しみながら防災について学ぶことができたほか、地域住民との交流も深めることができ、地域全体で防災意識を高める良い機会となった。



「みんなのふれあい広場」の様子

主催：中部小学校区みんなのケア会議

1

活動日・場所

令和6年11月23日（土）
総合福祉センターあいよる

2

活動した子ども

中部小児童等 60名
（校区内在住幼児含む）

3

地域住民等

中部カフェ企画委員会、PTA、第4
方面民児協、各町会、福祉事業所、
自衛隊、警察等 計126名